



# 津田小だより

松江市立津田小学校  
令和8年1月22日  
校長 小林 敏朗

## あけましておめでとうございます

旧年中は本校の教育活動にご理解・ご協力、そして多大なるご支援をいただきましたこと、厚くお礼申しあげます。今年は「午年」「丙午（ひのえうま）」です。丙午の年は「情熱や変化、エネルギーに満ちた」年、「新しい挑戦や飛躍のチャンスに恵まれる」年と考えられています。子どもたち一人一人の力を伸ばし、新しく挑戦したり大きく飛躍したりするよう、しっかりと成長を支えていきたいと考えています。今年も変わりませず、よろしくをお願いします。

さて、新年早々1月6日（火）には震度5強の地震が発生しました。今回の地震では、本校の校舎や施設面での被害はありませんでした。しかしながら、地震はいつ、どこで発生するのかわかりません。始業式で子どもたちに話しましたが、地震が起きた時、自分で自分の命を守る行動を取ってほしいと思います。始業式の後も、地区会において登下校時の地震対応について指導をしています。ご家庭でも地震発生時の行動について話をさせていただくと喜びます。

## 3学期の始業式から…

1月8日（木）から3学期が始まりました。始業式では次のような話をしました。

新年になりました。新年のあいさつをしましょう。

あけましておめでとうございます。今年もよろしくをお願いします。

今朝、みんなが登校してきたときに元気そうな顔が見られて安心しました。冬休みは元気に過ごしましたか？今年も午年（うまどし）です。馬のごとく、前へ前へ進み、自分の目標や夢に向かって努力する1年にしてほしいと思います。

さて、今日から3学期が始まります。2学期の終業式では、みんなが自分を見つめたり、ふりかえったりする力が伸びていることを話しました。ふりかえることで、次に自分ががんばること、目標が生まれてきて、そしてまた新たな目標に向かってがんばることで、さらに成長していくという話をしました。3学期も日々の生活や学習をしっかりとふりかえって、4月からの新しい学年に向かって、さらに成長してほしいと思います。

そしてもう一つ、今学期、みんなにがんばってほしいことを話します。それは「言葉」についてです。これはどこかわかりますか？そうです。昇降口です。その昇降口に掲示してある言葉知っていますか？「明るい津田っ子 未来へいっぽ」とあります。その中の「いっぽ」の「い」は「いつでも協力」、「つ」は「常に挑戦」、「ぽ」は何かわかるかな？「ぽ」は「ぽかぽか言葉」です。

校長先生は、この3学期、みんなに「ぽかぽか言葉」をたくさん使ってほしいと思っています。「ぽかぽか言葉」は、言った人も言われた人も心が温くなる言葉です。心が元気になったり、楽しくなったり、明るくなったりする言葉です。どんな言葉が浮かびますか？いろいろあります。

その中でも、校長先生が特にぽかぽかな気持ちになる言葉は「ありがとう」です。この「ありがとう」をたくさん伝え合い、この津田小学校が「ありがとう」という言葉であふれる学校にしていきたいと思っています。「ありがとう」の言葉には感謝の気持ちがあります。特に、3学期は1年間のまとめの学期です。自分を成長させてくれたもの、支えてもらったり助けてもらったりした人に対して、感謝の心をもち「ありがとう」を伝える学期にしてほしいと思います。

もうすでに、このことをがんばっている人もいるでしょう。3年生は「ありがとうチャンス」に取り組んでいます。5年4組では、プリントやお便りをわたす時に「どうぞ」「ありがとう」と言っています。全校のみんなも「ありがとう」に取り組んでほしいと思います。毎日の生活の中で、どんな場面で「ありがとう」が言えるか、考えてみてください。

「ありがとう」は世界で一番美しい言葉だそうです。「ありがとう」という言葉をお互いに交わしたら、学校や学級がもっと気持ちよくなります。

今日は、3学期にがんばってほしいこととして「言葉」「ありがとう」について話をしました。（後略）

まずは、2学期にも話をしましたが『自分をふりかえる』～『次がんばる目標がうまれる』～『目標に向かってがんばる』～『自分をふりかえる』…』ということを繰り返してほしいと思います。繰り返すことが、子どもたち一人一人にとっての成長につながることを考えています。

また、3学期は言葉に気をつけて生活してほしいと思います。残念ながら、1、2学期には子どもたちの会話やSNS上でのやりとりの言葉が原因で生徒指導上の問題になることが複数回ありました。言葉の選択や言い間違いでトラブルにまで発展したり、相手を深く傷つけてしまったりすることもありました。子どもたちには、普段使う言葉にも気を配ってほしいと思います。その中で「ぼかぼか言葉」を使いながら、友達や身の回りの人と接するといいなと思います。「ぼかぼか言葉」は言った人も言われた人も心が温くなる言葉です。さらに、3学期は1年間のまとめの学期です。自分の成長を支えてくれた人や物に感謝を表す「ありがとう」を伝え合う学期であってほしいと思います。

「ありがとう」は「ぼかぼか言葉」の一つですし、世界で一番美しい言葉と聞いたことがあります。その「ありがとう」という言葉が津田小学校いっばいに広がるといいなと思います。まずは、その美しい言葉を我々教職員、大人が率先して伝え、子どもたちのよきモデルになるといいなと思います。是非、保護者の皆様や地域の皆様も「ありがとう」をしっかりと伝えるよきモデルになっていただければ幸いです。

今年度のまとめの学期、新年度に向けての準備の学期が始まりました。子どもたち一人一人にしっかりと成長を促す3学期にしたいと思っています。

(ここから話は変わって…)「成長を促す3学期」にするために、1月8日(3学期始業式の日)午後の職員会議後に「3学期に身につけてほしい力」をテーマにしたワークショップを行いました。ご記憶にあるかどうか分かりませんが、夏休みに「津田っ子に身につけてほしい力」をテーマにしたワークショップを行いました。その第2弾ということです。3学期は子どもたちの成長を促す行事や活動が多くあり、また3学期が終わるころには大きな節目を迎えます。我々教員は2学期までのふりかえりも含め、それらの行事や活動、大きな節目に向けて各学年部で特にどんな力を身につけさせたいのか、どんなことを大事にしたいのかという話し合いを行いました。話し合いの中では「自分なりに考えようとするようになった」「行事や委員会活動を通して説明する力が伸びてきた」など子どもたちの伸びをふりかえりながら、次のようなことを大切にしていきたいという話し合いを行いました。一部紹介します。

- ・人を大切にすること
  - ・友達を大切にすること
  - ・感謝すること
  - ・チャレンジすること
  - ・自分事として考えること
  - ・自分自身を客観視すること
  - ・気配り、目配り、心配り
  - ・人間力を高める
  - ・考えて行動する力
  - ・高い目標設定
  - ・コツコツと努力する粘り強さ
  - ・ふりかえりから目標設定
  - ・集団での学習規律
  - ・自分のよさに気づく
  - ・友達のよさに気づく
- これらの力を伸ばしていけるように、日々の教育活動に取り組んでいきたいと考えています。

